＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	復興と県産材、未来につなげるエコな家　Ver.7
グループの名称	静岡パッシブデザイン・パートナー会
直近採択グループ番号	06-0129-0415

（グループ代表者）

代表者名	秋山　浩史	代表者印
代表者所属先	株式会社　アキヤマ	
代表者所在地	静岡県静岡市清水区草薙	
代表者電話番号	0543-45-1731	

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社　梅原建設	
事務局担当者名	梅原　智之	印
事務局郵便番号	414-0001	
事務局所在地	静岡県伊東市宇佐美2785番地の1	
事務局電話番号	0557-47-1137	
事務局FAX	0557-47-2551	
事務局担当者E-mail	pp.brand@ume-ken.com	

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	復興と県産材、未来につなげるエコな家　Ver.7
２．グループの名称(必須)	静岡パッシブデザイン・パートナー会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0129-0415
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県
５．結成年(必須)	2011　年
６．グループ代表者名(必須)	秋山　浩史
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社　アキヤマ
８．グループ代表者所在地(必須)	静岡県静岡市清水区草薙
９．グループ代表者電話番号(必須)	0543-45-1731
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社　梅原建設
１１．グループ事務局担当者名(必須)	梅原　智之
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	414-0001
１３．グループ事務局所在地(必須)	静岡県伊東市宇佐美2785番地の1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0557-47-1137
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0557-47-2551
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	pp.brand@ume-ken.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	原木供給業者が海外の為、該当する事業者の原木出荷の適合は、認証制度に基づく証明書を以て示す。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	5	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	4	
Ⅳ．プレカット	3	
Ⅴ．設計	5	
Ⅵ．施工	5	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	□　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	欧州赤松	国外	PEFC認証制度	2	国外
	しずおか優良木材	静岡県	しずおか優良木材認証制度	1	国内
	静岡県産材	静岡県	静岡県産材証明制度	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		21	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	21	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール（必須）	長期優良住宅の経験が少ない工務店に優先的に配分する

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	採択戸数	12	戸	交付申請戸数	8	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	8	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木供給業者が海外の為、該当する事業者の原木出荷の適合は、認証制度に基づく証明書を以て示す。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
22	Ⅰ － 1	静岡県森林組合連合会		420-8601	静岡県静岡市葵区追手町9番6号静岡県庁西館9F	054-253-0195
22	Ⅰ － 2	有限会社ヤナザイ		428-0006	静岡県島田市牛尾976番地の4	0547-46-1125
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
22	Ⅱ － 3	富士ひのき加工 協同組合		417-0801	静岡県富士市大渕4622番地	0545-37-0117
22	Ⅱ － 4	株式会社柳川製材所		428-0006	静岡県島田市牛尾976番地4	0547-46-1125
33	Ⅱ － 6	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209	0867-44-2695
5	Ⅱ － 7	菱秋木材株式会社		016-0115	秋田県能代市字悪戸67-1	0185-58-4311
33	Ⅱ － 8	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
22	Ⅲ － 4	株式会社柳川製材所		428-0006	静岡県島田市牛尾976番地4	0547-46-1125
22	Ⅲ － 5	株式会社マルダイ		417-0801	静岡県富士市大渕2410-1	0545-35-3535
13	Ⅲ － 9	株式会社エヌ・シー・エヌ		108-0075	東京都港区港南1-7-18	03-6872-5601
22	Ⅲ － 14	近藤建設工業株式会社		425-0036	静岡県焼津市西小川二丁目1番地の21	054-621-3000
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
22	Ⅳ － 5	株式会社マルダイ		417-0801	静岡県富士市大渕2410-1	0545-35-3535
21	Ⅳ － 10	セブン工業株式会社		505-0016	岐阜県美濃加茂市牧野1011番地	0574-28-7800
14	Ⅳ － 11	株式会社カナモク		252-0002	神奈川県座間市小松原一丁目22番8号	046-251-0866
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
22	Ｖ － 12	株式会社アキヤマ		424-0886	静岡県静岡市清水区草薙一丁目14番13号	054-345-1731	○	
22	Ｖ － 14	近藤建設工業株式会社		425-0036	静岡県焼津市西小川二丁目1番地の21	054-621-3000	○	
22	Ｖ － 15	株式会社ヤガワ		435-0021	静岡県浜松市東区材木町91番地	053-421-4756	○	
22	Ｖ － 17	株式会社梅原建設一級建築士事務所		414-0001	静岡県伊東市宇佐美3106番地の2	0557-47-1137	○	
22	Ｖ － 19	株式会社建築工房わたなべ一級建築士事務所		417-0862	静岡県富士市石坂271番地の5	0545-51-2612	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							5	○	○
22	Ⅵ - 12	74900	株式会社アキヤマ		424-0886	静岡県静岡市清水区草薙一丁目14番13号	054-345-1731	○	
22	Ⅵ - 13	75034	株式会社梅原建設		414-0001	静岡県伊東市宇佐美2785番地の1	0557-47-1137	○	
22	Ⅵ - 14	75064	近藤建設工業株式会社		425-0036	静岡県焼津市西小川二丁目1番地の21	054-621-3000	○	
22	Ⅵ - 15	74949	株式会社ヤガワ		435-0021	静岡県浜松市東区材木町91番地	053-421-4756	○	
22	Ⅵ - 18	91725	株式会社建築工房わたなべ		417-0862	静岡県富士市石坂271番地の5	0545-51-2612	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
22	Ⅵ － 12	74900	株式会社アキヤマ	11 戸	13 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	○
22	Ⅵ － 13	75034	株式会社梅原建設	20 戸	24 戸	2 戸	5 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	3以下		○	○
22	Ⅵ － 14	75064	近藤建設工業株式会社	7 戸	7 戸	5 戸	6 戸	0 戸	0 戸	2 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
22	Ⅵ － 15	74949	株式会社ヤガワ	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
22	Ⅵ － 18	91725	株式会社建築工房わたなべ	7 戸	6 戸	3 戸	5 戸	0 戸	0 戸	2 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	○
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）復興と県産材、未来につなげるエコな家　Ver.7	（地域型住宅供給対象地域）静岡県
２．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）静岡パッシブデザイン・パートナー会	（結成年）2011　年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0129-0415	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	重視する性能は、耐震性能と温熱性能です。 耐震性能では、基礎部分も含み全棟許容応力度計算を行い、「耐震等級3・耐風等級2」の共通性能確保することがグループの共通ルールです。 温熱性能は全棟一次エネルギー消費量を計算し、人々の暮らしを豊かにするパッシブデザインを採用します。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	将来発生率の高い東海地震を考慮し、構造は全棟数値化可能な集成材と金物による木質ラーメン工法を採用する事が、グループの共通ルールです。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	静岡県は、全国的にみても日照に恵まれております。 そこで、グループ全体でパッシブデザインを研究し提案を行う事を目指しております。 省エネの家づくりを推進することによりCO_2排出を減少させるだけでなく、快適な住環境とそこに住む人の健康にも大きく役立つと考えております。	◎
④ ①～③の背景	背景は、政府の地震調査委員会が発表している、「東海地震」です。発表では、今後30年の発生率は88%となっており、マグニチュード8以上の地震が想定されております。 建物全壊約26万棟、死者数約9，200人、経済的被害約37兆円という甚大な被害が予想されています。 また、パリ協定により温暖化防止対策が全世界的に叫ばれています。 それらの施策に寄与するためにパッシブデザインの『家づくり』をグループで取り組むことが背景となっています。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	パッシブデザインの効果を、より理解いただけるよう、グループ共通の『省エネルギー性能報告書』を作成し、エネルギー消費量の低減をお施主様に提案しております。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：許容応力度計算上必要な耐力壁については、全棟プレカット工場から支給されるJAS規格構造用合板を使用します。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：構造部材については、全て指定材料のみを使用することで、資材調達の合理化をしております。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：基礎工事に関しては、『標準仕様書』を共同作成し、コンクリート強度や配筋ルールや補強方法などを『標準仕様書』に準じて施工を行っております。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：建材・設備については共同仕入れ可能な取引先を共有し、グループ共同でコストダウンを実施しております。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：羽柄材を、標準加工シートを作成することで、見積もり作業の簡略化を実施しています。また、工場で加工し仕入れを行うことで、施工の合理化も実施しております。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：施工業者が提出した『構造材・納品アンケート』を元に、プレカット工場と建材流通業者で実施する『品質管理委員会』において生産の更なる合理化を目指しております。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：建材流通業者が実施する定例勉強会に参加を積極的に行い、グループ代表としてアンケート勉強会内容を積極的に実施していく。また、定例会合でも勉強会内容を勉強会の内容を議題としていく。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の『施工マニュアル』を使用し、確実に施工を行い、高い性能の家作りを実現します。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の検査方法をまとめた検査報告書を作成し、目に見えなくなってしまう構造躯体の写真を掲載した『性能報告書』を、引渡時にお客様へお渡し致します。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：地域材の積算に関しては、「一式」表記を用いず「数量」表記とし、数量・単価等を明確にします。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の検査書式を使用した『検査報告書』を元に、大手損害保険会社引受による『構造性能保証書』を発行し、お客様への更なる安心を提供しております。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：すでに取り組んでいる、グループ会社と情報交換会を実施していく。	◎
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：定期的な技術による研修会を実施し、研修合格者には有資格を発行しております。	◎
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：グループ構成員は、全て社会保険加入しております。	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：上棟時の安全をしっかり伝達するために、基礎から上棟までの施工マニュアルを映像化し各業者に配布し、安全を共有しております。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	信頼を確保するために、施工だけでなく構造設計についても、共通のマニュアルが必要であると結論づけており、グループ共通の『構造設計マニュアル』を作成し使用しております。				◎

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 復興と県産材、未来につなげるエコな家　Ver.7	（地域型住宅供給対象地域） 静岡県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 静岡パッシブデザイン・パートナー会	（結成年） 2011　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0129-0415	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：第三者機関に、30年間に渡り確実な住宅履歴情報のデータ管理を実施しております。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある → 内容：一般社団法人JBNの『いえもり・かるて』を利用しております。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：住宅所有者様に、ログインID＆パスワードを配布し、専用ページで確認を行なえます。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：瑕疵保険終了となる10年目に関しては、全社共通の点検シートを使用し定期点検を行う事を共通ルールとしております。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：主要構造部については、補修方法のマニュアル化を行っております。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：瑕疵保険終了となる10年目の全社共通の点検シートを、構造設計事務所に提出を行い、確認を行う事で、構造の瑕疵保証の更なる延長も実施しております。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：その家で使う部材の『取扱説明書』をファイリングし、使用方法とメンテナンス方法を説明します。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：構造見学会等で、施工技術やメンテナンスについても、説明を実施しております。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：各社が独自に開催するセミナー内容をグループ内で共有し、よりお客様へ住まいのセルフメンテナンス含めた重要性と方法等を訴求しております。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある → 内容：定期点検のグループ共通マニュアルの必要性を感じており、施工グループ内で各社1名選出の上、維持管理検討委員会の設立し、情報交換を実施しております	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある → 内容：2017年に改修完了する『清水の次郎長生家』を見学し、100年持つ住宅の手入れについて定期勉強会を実施しております。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある → 内容：お引渡し時にグループ名簿をお渡しし万一の連絡先を顧客に伝達しております。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：グループ内で発行した、所定の資格を有する『施工管理技士』が、3年に一資格更新を行う研修会を実施しております。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			グループとしては、共通のメンテナス体制の構築と、住宅履歴情報の保存を今後も検討していき、再来年を目途に新しいマニュアルづくりを目指していきます		◎

エ．グループの技術力の向上

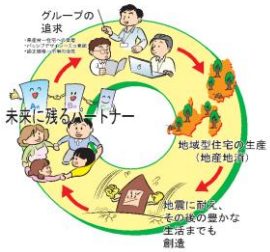
【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある → 内容：長期優良住宅＋ゼロ・エネルギー住宅採用に向けて、共同勉強会を定期開催しております。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：構造躯体について、共通の施工マニュアルを元に、自主検査と検査報告書を作成します。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある → 内容：検査報告書を、構造設計事務所に提出し、検査内容の確認を実施しております。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある → 内容：パッシブデザインの普及に向けて、お客様にわかりやすくご提案出来るツールを、グループ内で開発し、運用を開始しております。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある → 内容：断熱材のコスト・施工方法等の技術開発を主眼においた、各社施工現場の見学を実施しております。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある → 内容：共通の断熱材の施工方法等を研究する定期会合を実施しております。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　25	今年度の参加目標人数　5	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　40	今年度の参加目標人数　5	◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある → 内容：グループ内で共通のメールアドレスを設定しましたので、省エネ技術者講習会が静岡県内で開催される際には、事務局より全メンバーに告知を行い、講習会参加を促します。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある → 内容：ゼロ・エネルギー住宅の更なる提案と導入を研究し、パッシブの設計技術の勉強会を実施します。	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある → 内容：構造について、新たな構造評定取得を目標に、定期的な技術開発を実施しております。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			静岡パッシブデザイン・パートナー会でFacebookページを立ち上げておりますので、新しい技術やイベント等情報を配信し、お客様に安全で快適な住宅づくりを訴求していきます		◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）復興と県産材、未来につなげるエコな家　Ver.7	（地域型住宅供給対象地域）静岡県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）静岡パッシブデザイン・パートナー会	（結成年）2011 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0129-0415	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	PEFC－CoC認証制度を使用した構造材を、土台を除く主要構造材（柱・梁・桁・横架材）に使用いたします。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：■ 使用していない　□ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	 静岡パッシブ・デザインパートナー会として 主要構造材にはPEFC材を使用し構造計算を実施する事で、来るべき東海地震に備えた家づくりを目指しております。 また、静岡の木について羽柄材での採用を計画的に行っております。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：構造計算後のデータを加工データに変換する仕組みを採用することで、常に必要材積を確認し、納期遅延が起きないように、専用のプログラムで在庫管理を実施しております。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：価格改定があった場合は、流通業者より通知があるルールが確定しております。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：グループ全社の平成30年度新築予測数は60棟です。 15㎥×60棟＝950㎥の地域材出荷を、グループ全体で予測しております。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：2017年改修完了の『清水の次郎長生家』で和室を視察し畳について、意見交換を実施しております。	◎
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：2017年改修完了の『清水の次郎長生家』で復刻した清水瓦について、グループで学んでおります。	◎
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：建具製作工場に訪問し、職人の方々等と情報交換を実施しております。	◎
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：各社の障子デザインを完成現場に訪問し、情報共有を行っております。	◎
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：染色塗装により、和のデザインを取り入れた建具をカタログ化し、グループ各社で使用可能にしております。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：静岡は東西に長いため、それぞれの地域勉強会を、それぞれの地域主体で実施する事で、さらなる意見交換を実施しております。	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：2017年改修完了の『清水の次郎長生家』の長屋デザインを、グループで共有し定期会合にて学んでいます。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：グループ名称でもあります『パッシブ・デザイン』を追求していきます。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：卓越風を利用した換気と開口方向の統一性を図り、パッシブ・デザインを追求するとともに、街並み形成に協力します。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：染色塗装の建具の工場見学を実施し、定期勉強会を行っております。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		富士箱根伊豆国立公園内建築物における法制度遵守し、パッシブデザインの追及と、街並み形成に協力していきます。	◎

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	東北復興支援はグループ全体の思いでもあり、グループ結成時から復興への活動をしております。 引き続き東北被災地生産の床合板に採用目指し、震災復興支援と雇用形態が生み出す『経済活動』に寄与していきます。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	耐震100%運動を通じ、被災地で経済活動される工務店と定期的な情報交換会を通じ、将来的に、熊本の材料使用を研究開発していきたいと思います。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）復興と県産材、未来につなげるエコな家　Ver.7	（地域型住宅供給対象地域）静岡県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）静岡パッシブデザイン・パートナー会	（結成年）2011 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0129-0415	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

◎未来につながるエコな家【高度省エネ型】

・ゼロ・エネルギー住宅

自立循環型住宅の考え方に基づき、自然エネルギーの活用技術（自然風の利用、昼光利用、日射熱の利用）や日射遮蔽手法を用い、
静岡県の地域に合うパッシブ・デザインを採用しいき、更なる住宅全体での一次エネルギー消費量の更なる削減に取り組んでいきます。

昨年に引き続きゼロ・エネルギー住宅を積極的に提案するために、まずはお施主様の採用を主眼においております。
また、グループ全体としてBELS工務店を目指していきます。

ゼロ・エネ設定基準値　　UA値　目標0.6

H28年省エネ基準地域区分　1つの地域が対象

	全体削減率	太陽光発電を除く削減率（R0値）
6地域	100.0%超	20.0%超

・認定低炭素住宅／性能向上計画認定住宅

長期優良住宅が困難な住宅等に対しては、性能向上計画認定住宅を提案します。一次エネルギー消費量の削減は当然ながら、その他の認定基準としては、
『木造建築物』は及び『設置する便器の半数以上に節水に資する便器を採用』し、劣化対策等級3相当の基準で設計を行います。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。